

セルプロセッシング計測評価研究部会では、「第3回若手研究シンポジウム～次世代を担う生物工学技術～」を2011年7月17日（13:00～15:20）に、春日居びゅーほてる（山梨）で開催しました。昨年度までは博士課程部門と博士研究者部門の2部門に分けての開催でしたが、本年度はそれらが統合され1部門での開催となりました。

部会関連の先生方のご推薦を受けた若手研究者6名が最新研究成果の発表を行いました。参加者も30名を超え、十分な時間を設定した質疑時間を超えてもまだ議論が尽きない、非常に活発なシンポジウムとなりました。どの発表も新規性・オリジナリティーが高く、今後の研究の発展が期待されるものであり、これからの生物工学を支える若手研究者への期待が大いに膨らむ発表となりました。

発表後、厳正な審査の上、若手研究奨励賞が決定しました。授賞式では、研究部会代表者の徳島大学・大政健史教授から受賞者に賞状が授与されました。

本シンポジウムに参加された若手研究者の方々の今後のさらなるご発展を祈念しております！

平成23（2011）年度 Young Researcher's Award（若手研究奨励賞）受賞者

安藤 友子

山梨大学大学院 医学工学総合教育部 人間環境医工学専攻（博士課程1年）

慶應義塾大学 医学部生理学教室（共同研究員）

発表タイトル…レット症候群疾患特異的ヒトiPS細胞の樹立とその特徴



受賞された安藤友子氏（右）と大政部会長

その他の発表者と発表タイトル一覧（発表順）：

杉田 智哉（名古屋大学大学院 工学研究科 化学・生物工学専攻）

乳酸菌接着ペプチドの探索と細胞接着誘導

千田 泰史（福井大学大学院 工学研究科 物質工学専攻）
高エネルギー線照射による自己増殖制御可能な動物細胞株の創出

富名腰 敬（東京農工大学大学院 生物システム応用科学府）
トレハローストランスポーター発現による哺乳類細胞への凍結耐性付与プロセッシング

菅谷 紗里（千葉大学大学院 工学研究科 共生応用化学専攻）
マイクロ流路内非平衡系を利用した微小ハイドロゲル粒子の作製と応用

小出 昌弘（東北大学大学院 環境科学研究科）
酸素の変換濃縮法を応用したミジンコの呼吸活性計測

[⇒セルプロセッシング計測評価研究部会Topへ](#)